

町長に**提言書**を提出 求められる**実行力!**



町長に提言書を提出(11月10日)

町議会では、昨年4月に開催した「議会報告会と町民との対話集会」や各種団体との懇談会などにおける町民の意向を踏まえ、町長に12項目の「政策提言書」を提出しました。

提言書では、各種政策を実行することにより、豊かな町づくりと町民福祉の向上を求めています。

3項目のみ抜粋して掲載していますので、全文は町ホームページをご覧ください。

町ホームページ

<http://www.town.oishida.yamagata.jp>

危機管理と豪雪対策

消防分署を存続させて機能の拡充を行い、自然災害(雪害、水害、地震等)に強い住みよいまちづくりを目指すこと。特に、豪雪地の当町では、流雪溝が必要不可欠なので、早期に全町整備すること。



小学校の統合

平成23年度に小学校が3校に統合され、子どもたちはのびのびと勉強やスポーツに励んでいる。少子化によって将来1校への統合が計画されているが、これまでの学校統合の状況を考えた場合、検討に長い年数が必要であるので、早急に統合小学校に関する検討を行うこと。



福祉会館にかわる複合施設の早期建設

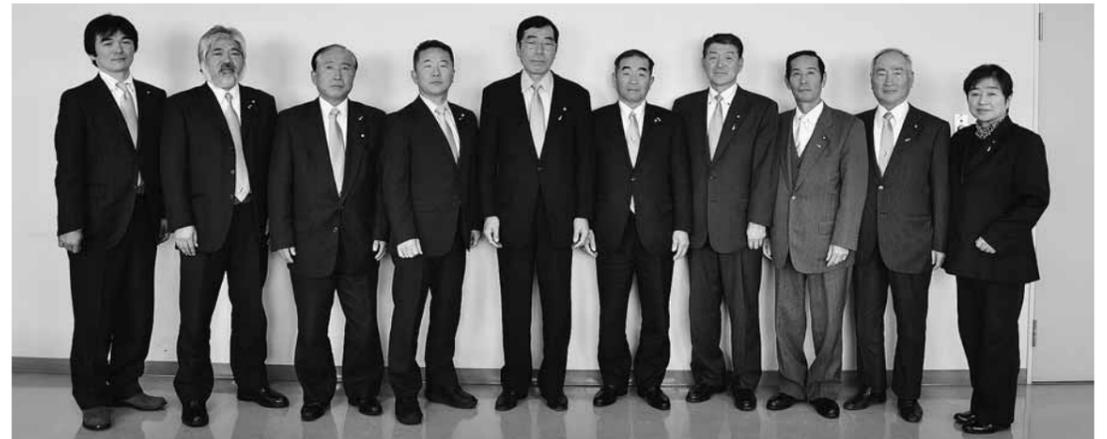
生涯学習の拠点となっている福祉会館(中央公民館)は、災害時には避難場所にもなっている。しかし、築40年以上経過して老朽化が進んでおり、耐震性にも問題があると思われる。「多機能型複合施設」の建設に向けた検討委員会を早急に立ち上げ早期建設を図ること。



大石田町は最上川の舟運文化とともに歴史を刻んできました。この木造釈迦如来涅槃像は江戸時代のもので、山形に安置されるべきところ、有縁の地であるとして、中継河岸の大石田に安置されたと伝えられています。1694年(元禄7年)に木食上人が寄進されたもので、奇木造りで漆箔彫眼、201.5センチメートルもあり全国的にもみても屈指の巨像。

※なお、木造釈迦如来涅槃像は冬期間、冬眠します。雪が積もる前か消えてからお越しください。

左から
村形昌一
小玉 勇
関 幸悦
村岡藤弥
遠藤宏司
齋藤公一
芳賀 清
星川 久
小林征雄
青木久子



今年も町発展のためにがんばります

あけまして
おめでと〜ございませす

昨年末の12月16日に執行された衆議院議員総選挙の結果は自由民主党の圧勝となりました。3分の2以上の議席を獲得し、大差で誕生した再登板の自公政権には、国民の期待を裏切らない安定した国民信頼の国政運営をお願いしたいと思います。選挙前から安倍首相の金融政策の大幅緩和、年2%のインフレ目標など、景気回復策の発言に市場は大きく反応し、徐々に円安、株高の活況で迎えた新年、今度こそ大いなる期待をしたいと思えます。一方町内も明るいニュースの連続で年を越しました。

11月20日、第13回山形ふるさとCM大賞において、若い町職員チームが作り上げた作品が見事大賞を受賞するという快挙を成し遂げ、年間365日大石田町のCMがテレビで放映されることになりました。続いて、「町内青年たちが「若者応援隊」を立ち上げ、11月28日「OMONOSAMMIT2012」を実施。熱気満々活動をスタートしました。

議会も「うまいぞ大石田」を売り込もうと、「べそらネクタイ」「べそらピンバッジ」を胸に「そば&べそら」を町外に発信。連日一般紙を賑わしました。町づくりに「打逆転ホームラン」はありません。小さいことの積み重ね、継続こそ大きな結果を生み出すものと信じています。小さくともキラリと光る町へ町民のみなさんと力を合わせ、町と議会一体となって頑張ろうと思えます。

益々のご指導、ご支援をお願いし新年のあいさつといたします。

議長 小林征雄